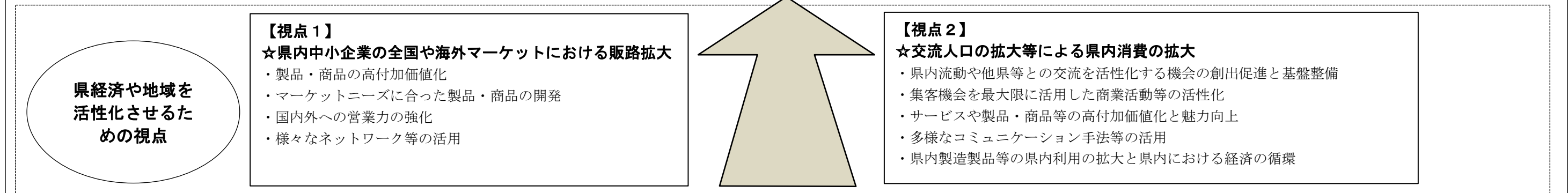


「秋田を支える中小企業の振興に向けた指針（仮称）」素案の概要

<p>【指針の役割】 ○「秋田県中小企業振興条例（仮称）」の推進に実効性を持たせるため、県が実施する具体的な施策の方向性を示すもの</p>	<p>【指針の特色】 ○条例に基づき、「中小企業の振興」に焦点を当てて、推進すべき基本的施策を6つに体系化 ○併せて、主要8分野について、現状や課題、目指す姿と具体的な施策を示す</p>
---	--

【指針の実施により目指す姿】
 ○自ら挑戦し続ける意欲を持つ強い中小企業
 ○国内や海外において販売を拡大する中小企業
 ○付加価値の高い製品・商品やサービスを提供する中小企業
 ○県内消費の拡大に貢献する中小企業



<p>中小企業の振興のために県が行う基本的施策</p>	<p>【施策1】 ☆環境の変化に対応する中小企業の経営基盤の強化 ・相談・支援体制の整備・充実 ・資金供給の円滑化 ・円滑な事業承継の促進 ・後継者育成への支援 ・情報通信技術の活用等による生産性等の向上支援 ・小規模事業者への支援</p>	<p>【施策2】 ☆新たな市場開拓へ果敢に挑戦する中小企業の販路拡大等 ・国内外における販路開拓支援 ・マーケットニーズを先取りした製品・商品の開発・製造への支援 ・県内の交流人口の拡大に向けた取組の推進 ・受注機会の増大などによる県内製造製品等の県内利用の拡大促進</p>	<p>【施策3】 ☆「強い」企業への変革を目指す中小企業の競争力強化 ・生産性の向上による高付加価値化の促進 ・技術の高度化支援 ・産学官連携等によるイノベーションの創出 ・産業デザインの導入促進 ・企業間連携の強化と最終製品の開発や高付加価値化の促進 ・設備投資への支援 ・中小企業のやる気を引き出すしくみづくり ・知的財産の保護及び活用の支援 ・環境負荷低減への支援</p>	<p>【施策4】 ☆意欲ある中小企業の新たな事業の創出及び創業の促進 ・経営の多角化・異業種分野への進出支援 ・異業種連携の促進 ・新商品、新役務、新技術の開発支援 ・創業・第二創業の促進</p>	<p>【施策5】 ☆地域の特性に応じた中小企業の事業活動の促進 ・地域に密着した地場産業の強化 ・多様な地域資源を活用した事業活動の促進 ・農商工連携等の促進 ・技術・技能の振興・継承の促進 ・地域づくりとの連携促進 ・原材料の確保支援</p>	<p>【施策6】 ☆事業活動を支える人材の育成及び確保等 ・キャリア教育の充実 ・職業能力開発の推進と生涯を通じたキャリア形成の支援 ・多様な人材の確保 ・雇用環境の整備</p>
-----------------------------	--	---	--	--	--	---

各分野ごとの現状や課題、目指す姿や施策
 主要8分野（成長が見込まれる分野や雇用規模が大きい分野）
 製造業分野、伝統産業分野、食品産業分野、情報関連産業分野、商業分野、観光産業分野、建設業分野、医療・福祉関連産業分野

<p>【指針の実施期間】 ・「平成26年度から平成29年度までの4年間」 ※ただし、社会・経済情勢の変化に的確に対応するため、必要に応じて施策の見直しを行う</p>	<p>【指針の推進】 ・中小企業の振興をオール秋田で推進するため、「秋田県中小企業振興委員会（仮称）」を設置 ・県内各地域における中小企業者との意見交換会を開催 ・商工団体や金融機関等との意見交換会を開催 ・市町村との情報共有・連携 ・中小企業へのきめ細やかな情報提供</p>
---	--

各分野ごとの現状や課題、目指す姿や施策（概要）

【 製造業分野 】

★現状・課題

- ・付加価値額が全国でも低位にある
- ・製造品出荷額が過去10年間で1割減少している
- ・中小企業が多いため、単独での販路拡大と新製品開発に向けた取組に限界がある

★目指す姿

「技術競争力の向上や経営改革に取り組み、付加価値額の増加を図る」

★具体的施策

- ・技術力、研究開発力、生産力等の向上による付加価値額の増加
- ・成長分野への参入に向けた技術開発、研究開発、情報収集力の向上
- ・販路拡大と高付加価値化に向けた企業連携等の推進

【 伝統産業分野 】

★現状・課題

- ・生活様式の変化等による需要の低迷
- ・熟練職人等の高齢化・減少と低い生産性
- ・資源の枯渇等による原材料確保への不安
- ・知名度不足

★目指す姿

「伝統を守りながらも、未来に向かってチャレンジし続ける秋田の伝統産業を確立する」

★具体的施策

- ・時代にマッチした「売れる商品づくり」
- ・産地を担う人材の育成
- ・ものづくりを支える生産基盤の確立
- ・地域づくりとの連携によるPR・普及啓発

【 食品産業分野 】

★現状・課題

- ・東北最下位の食料品及び飲料等の製造品出荷額
- ・小規模事業者主体の産業構造
- ・首都圏等の大消費地への情報発信力やマーケティング力の強化
- ・県外マーケットの動向に対応した商品開発と販路の拡大
- ・農商工連携や6次産業化など関連業種のネットワークの強化

★目指す姿

「意欲ある食品事業者が、農業者や小売業者等とのネットワークを活かし、マーケットインの視点から戦略的な商品開発とプロモーションに取り組む食品産業界」

★具体的施策

- ・食品事業者の経営力の向上や競争力の強化に対する支援
- ・県外市場にチャレンジする食品事業者群の育成
- ・市場ニーズを先取りした秋田オリジナルな商品開発（日本酒、麴等）
- ・ターゲットや地域を明確にした戦略的プロモーション
- ・農商工連携や6次産業化など異業種からの参入促進による食品産業の裾野の拡大

【 情報関連産業分野 】

★現状・課題

- ・売上高や生産性が低く従事者数も少ない
- ・大半が下請受注のため、技術や利益の蓄積が困難
- ・新技術や高付加価値技術への対応の遅れ

★目指す姿

「秋田の産業を牽引する付加価値の高い情報関連産業の確立」

★具体的施策

- ・知識やスキルの向上と人材の確保及び育成
- ・新たな市場の開拓や経験及びノウハウの蓄積による販路の拡大
- ・ICT利活用ニーズの掘り起こしや技術力と発想力による高付加価値商品づくり

【 商業分野 】

★現状・課題

- ・営業力の強化、販路開拓やサービスニーズへの対応
- ・既存の事業者の活性化や、新規参入者の増加による意欲ある元気な事業者の確保
- ・設備の不足や店舗等の老朽化、競争の激化への対応
- ・新たな商業形態の展開、流通の多様化

★目指す姿

「意欲ある多様な事業者が県内全域で活動している」

★具体的施策

- ・個店指導の強化とその成果の周辺への波及の促進
- ・人材育成とネットワーク化への支援及び情報交換、情報発信の促進
- ・集客力向上のための取組への支援
- ・買い物しやすい環境の維持のための事業者の取組への支援

【 観光産業分野 】

★現状・課題

- ・マーケットに訴えかける魅力ある観光地づくり、観光資源の磨き上げとビジネスとしての仕組みづくり
- ・多様な分野との連携の強化による交流機会の創出
- ・秋田のトータルイメージの確立、観光産業を支える人材の育成

★目指す姿

「ビジネスとして継続・成長していく観光産業の形成」

★具体的施策

- ・お客様目線を重視したビジネスとして継続・成長していく観光産業の形成
- ・お客様と秋田への観光を結び付けるネットワークづくり
- ・多様な分野との連携
- ・県を挙げた取組態勢の再構築
- ・経営基盤の強化

【 建設業分野 】

★現状・課題

- ・社会資本の長寿命化対策など建設需要の変化に対応した技術の導入や経営戦略が必要
- ・若年入職者の減少や就業者の高齢化により技能等の継承が困難
- ・地域社会の維持、県民の安全・安心の確保のためには、担い手となる地域の建設企業の存続が不可欠

★目指す姿

「技術と経営に優れ、地域に貢献する建設業」

★具体的施策

- ・技術力の向上と人材の確保・育成
- ・本業の強化や経営の多角化などによる安定的な経営基盤の確立
- ・地域の維持、雇用の確保等を通じた地域への貢献
- ・適正な建設市場環境の整備

【 医療・福祉関連産業分野 】

★現状・課題

- ・（福祉・介護）人手不足が常態化、高水準の早期離職者割合、一定規模の潜在的有資格者
- ・（医療）医師不足と地域・診療科の偏在、看護師不足と地域偏在
- ・（連携）高齢者等が住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できる体制構築
- ・医療・福祉機器の製造への参入、ニーズの増加や多様化に応じた開発

★目指す姿

「ポテンシャルの高い医療福祉産業の成長の実現」

★具体的施策

- ・福祉・介護分野における人材育成等
- ・医療分野における人材育成等
- ・医療・介護・福祉の連携強化に向けた人材育成
- ・医工連携の促進等